

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.2

名前

得点

/9

問1 乳幼児期に見られる、自分と他者の視点を区別できない認知の状態から脱し、自分とは異なる多様な視点から客観的に物事を捉えられるようになる発達の過程を「脱中心化」と名付けた、スイスの心理学者は誰か。 （2024年 全国公立入試 類似）

1. スキナー 2. ピアジェ 3. ワトソン 4. フロイト

問2 障害のある人もない人も、互いに区別されることなく、地域社会の中で共に普通の生活を送ることが本来の望ましい社会のあり方であるとする、現代の社会福祉や人権保障における基本理念を何というか。 （2022年 全国公立入試 類似）

1. インクルージョン 2. ノーマライゼーション 3. メインストリーミング 4. ナショナルミニマム

問3 個人の記憶は、孤立して存在するのではなく、家族や地域、宗教団体といった共同体の他者との相互作用や、社会的な枠組みに依存して再構成されるものであると主張し、共同体における記憶の共有の重要性を唱えたフランスの社会学者は誰か。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. ホルクハイマー 2. ボードリヤール 3. ガーフィンケル 4. アルヴァックス

問4 現代社会における福祉や支援の現場では、本人の意思を無視した過剰な介入を避けつつ、社会的な排除を防ぐことが求められる。この議論の背景には、他者とのつながりを失って社会から排除される状態と、自己との対話のために自発的に社会から一歩退く状態を区別する視点がある。このように、全体主義の分析を通じて、他者と協働できない「孤立」と、自己の内省の営みである「孤独」を区別し、個人の尊厳や複数性の重要性を説いた、20世紀の政治哲学者は誰か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. カール・シュミット 2. ジョン・ロールズ 3. ロバート・ノージック 4. ハンナ・アーレント

問5 西洋の近代社会を頂点とする進歩史観や自文化中心主義（エスノセントリズム）を批判し、すべての文化はそれぞれの環境に適応して歴史的に形成されたものであり、独自の価値を有するため、文化の間に優劣や高低は存在しないとする、レヴィ＝ストロースらによって提唱された考え方を何というか。 （2025年 全国公立入試 類似）

1. 自由至上主義 2. 自民族中心主義 3. 文化相対主義 4. 文化帝国主義

問6 現代の大衆社会において、人々は内面的な信念や伝統に従うのではなく、周囲の期待やマスコミの動向に敏感に反応し、他者に合わせようとする傾向が強まるとされる。このような性格類型を「他人指向型（他人決定型）」と呼び、互いに関わりを持ちながらも孤立している現代人を「孤独な群衆」と名付けたアメリカの社会学者は誰か。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. テンニース 2. リースマン 3. マルクーゼ 4. ヴェーバー

問7 「すべての生きようとするものを神聖なものとして敬い、これを維持し、促進することが善であり、これを破壊し、阻害することは悪である」と考え、アフリカのガボンで医療と布教活動に生涯を捧げたドイツ出身の医師・神学者が提唱した、倫理的実践の基本思想を何というか。 （2014年 全国公立入試 類似）

1. 他者への責任 2. 生命への畏敬 3. 未来への責任 4. 自然との共生

問8 現代社会において、他者とのつながりを失い、自ら望まずに社会から取り残される「孤立」は解決すべき課題とされる。一方で、自ら望んで社会から一歩引き、自己と向き合って思考を深める「孤独」は、個人の精神的成長にとって有意義な営みとされる。このように、世俗的な集団から離れ、主体的に自己のあり方を問い直す態度は、近代の思想家にも見られる。客観的な真理ではなく「私にとっての真理」を求め、既成の教会や大衆のあり方を批判して、神の前に主体的に立つ個人のあり方を何と呼ぶか。 （2023年 全国公立入試 類似）

1. 主体性 2. 包括者 3. 普遍者 4. 単独者

問9 青年期において、アイデンティティ（自己同一性）の確立に悩む中で、学業や就職といった本来果たすべき社会的役割に対して一時的に無気力や無関心になり、何事にも意欲がわなくなる状態を何というか。 （2009年 全国公立入試 類似）

1. アパシー 2. トラウマ 3. ジレンマ 4. ペルソナ